

株式会社ネクス、ヴィストン株式会社との介護ロボットの共同開発を開始

株式会社ネクス（本社：岩手県花巻市、代表取締役社長：秋山 司、以下、「ネクス」）は、ロボット関連製品のメーカーであるヴィストン株式会社*1（本社：大阪府大阪市、代表取締役：大和 信夫、以下、「ヴィストン」）と、介護ロボットの共同開発を開始いたしました。

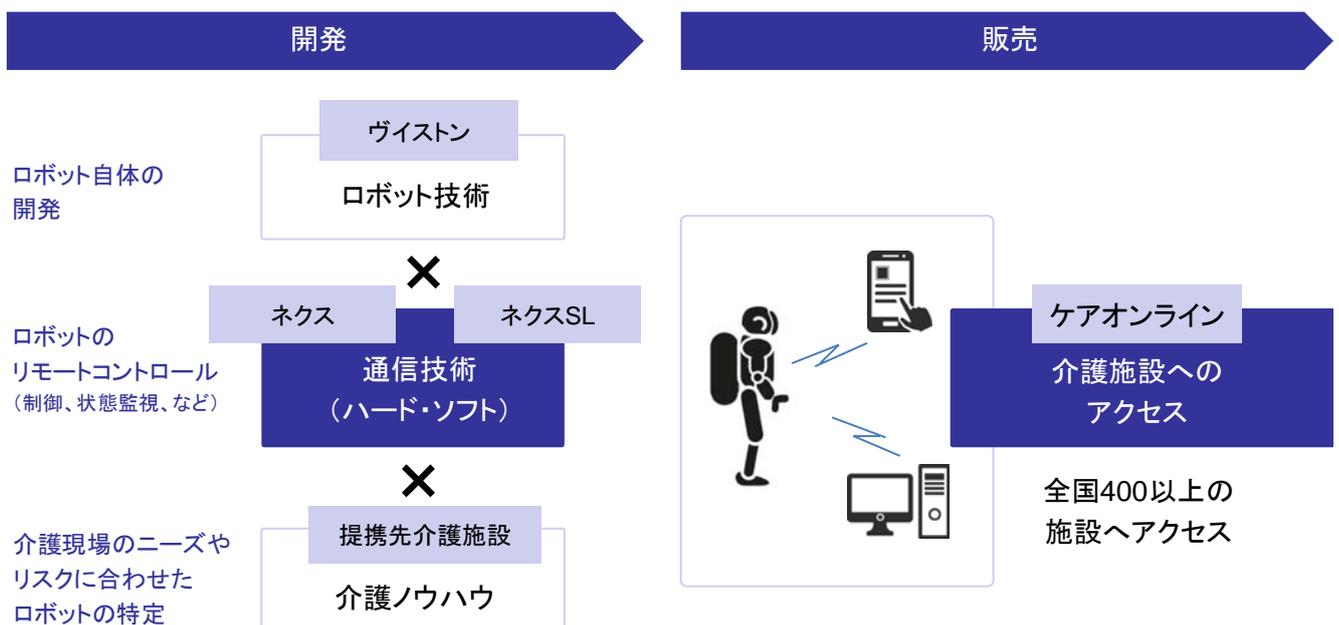
○共同開発について

ヴィストンは、ロボット関連製品の開発・製造・販売を行っており、二足歩行をするロボットや全方位センサを組み込んだロボットの開発・製造に定評があります。同社が開発したロボットはCMや雑誌にも多数取り上げられ、株式会社デアゴスティーニ・ジャパンの「週刊ロビ」に付属する二足歩行ロボットキット「Robi」のCPUボード、センサボードの開発にも協力をしています。また、小学生ほどの大きさがある二足歩行ロボットを安価に開発するなど、センサ技術・モータ技術に独自のノウハウを蓄積しています。

本件共同開発は、ヴィストンの開発する介護ロボットに対し、当社の通信モジュールを組み込むことで、将来的に介護ロボットの遠隔制御や状態監視、高齢者の見守り、音声や画像の送信、ロボットのソフトウェアのアップデート等を実現します。また、当社子会社でシステム開発会社である株式会社ネクス・ソリューションズ（以下、「ネクスSL」）では、ロボットから収集したデータを蓄積するサーバーやそのデータを活用し役立てるためのアプリケーションの開発を行うことで、スタンドアローンのロボットでは実現できない様々な可能性・拡張性を付加させることが可能です。

同じく当社子会社である介護施設向けASPサービスの提供を行う Care Online 株式会社（以下、「ケアオンライン」）では取引先である全国71法人400以上の施設との顧客インターフェースを持っております。

さらに、開発に当っては、サイバーダイナミクス株式会社のロボットスーツ HAL®などの介護現場への試験導入や、自らも介護ロボット研究の実績がある、都内最大級の介護施設運営法人と提携をすることで、高齢者にとってユーザビリティが高い製品、また介護者側の視点で必要な機能を実装するため、介護施設におけるマーケティングや試作機の導入を繰り返しながら、生の介護の現場に最適な、必要とされる介護ロボットの開発を目指します。



○介護ロボット市場について

当社の中核となるデバイス事業がターゲットとする情報通信市場において、M2M 分野は急速な市場拡大が見込まれております。当社は、これまでも M2M 端末製品を成長ドライバーの 1 つと掲げ取り扱っており、車載向け製品や遠隔監視、農業分野等幅広い領域への事業ドメインの拡大を図ってきました。

また、平成 25 年 12 月 11 日には、M2M 分野のドメイン拡大の領域の 1 つとして、これからの成長が期待される介護業界に参入すべく、介護事業者向けの業務支援システムを開発するケアオンラインの株式を 100%取得し連結子会社化しました。

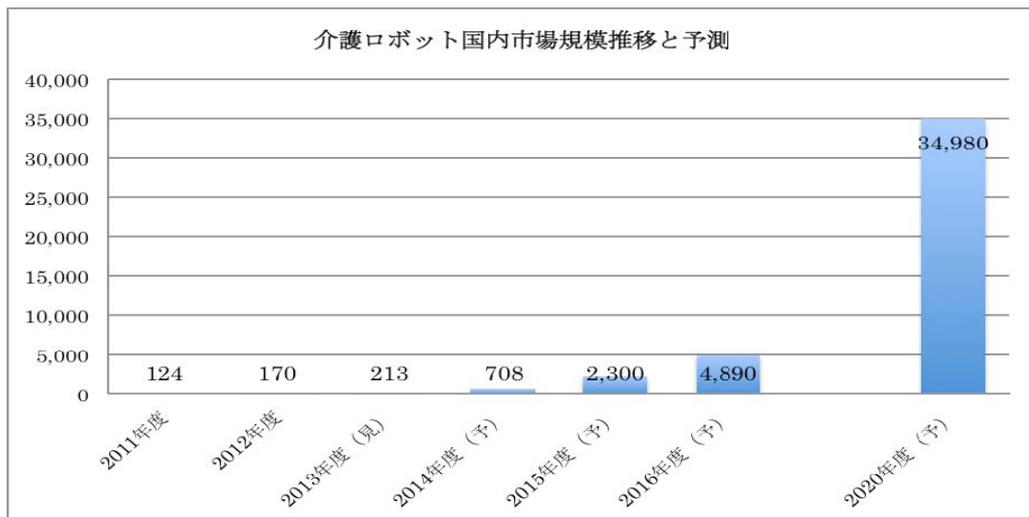
介護業界は、高齢者人口の増加を背景に拡大を続けています。平成 24 年の要介護認定者数は 548 万人。平成 12 年の 249 万人に比べ、12 年で約 2 倍以上に増加しています。さらに 10 年後には、人口 800 万人を超える“団塊の世代”が後期高齢期を迎え、更なる増加が見込まれています。

こうした高齢者人口の増加を背景に、経済産業省と厚生労働省は、ロボット技術による介護現場への貢献や新産業創出のため、平成 24 年 11 月に「ロボット技術の介護利用における重点分野」を策定しました。

国内の介護ロボット市場規模は、2012 年度は 1 億 7000 万円と、現状ではまだ市場規模は小さいですが、機能向上やコストダウンが進み、2015 年度に予定されている介護保険制度の見直しで、介護保険が適用される介護ロボットが増加すれば、国内の介護ロボット市場規模は、2015 年度には 23 億円（13 倍超）、2020 年度には 349 億 8000 万円（205 倍超）に急拡大すると予測されています。

当社は、保有する技術資産を用いることで、介護ロボットに対する遠隔での制御や状態監視、高齢者の見守等のサービスができる、付加価値の高い開発に寄与できると見込んでいます。

単位：百万円



注 1：メーカー出荷金額ベース

注 2：(見) は見込み額、(予) は予想値

*出所：2014 年 1 月 7 日矢野経済研究所「介護ロボット市場に関する調査結果 2013」

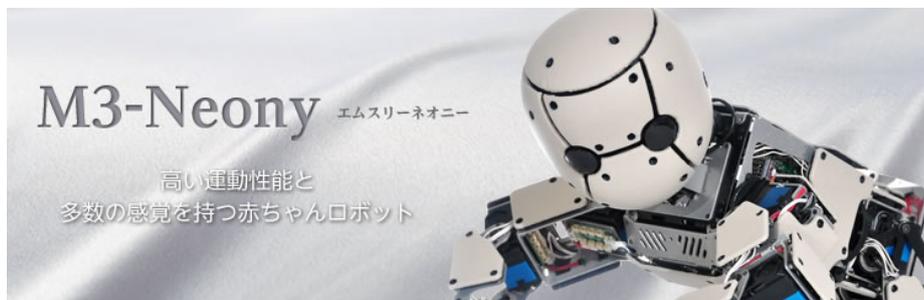
- * 1 ヴイストーン株式会社
 大阪府大阪市西淀川区御幣島 2-15-28
 資本金 5000 万円
 代表取締役 大和 信夫
 最高技術顧問 石黒 浩 (大阪大学特別教授)
 ホームページ <http://www.vstone.co.jp>

実績

日清食品カップヌードル景品「花のワルツを踊るカップヌードルロボタイマー」開発
株式会社デアゴスティーニ・ジャパンの「週刊ロビ」に付属する二足歩行ロボットキット
「Robi」のCPUボード、センサボード開発
国際宇宙ステーションに滞在するヒト型コミュニケーションロボットの共同研究“KIBO
ROBOT PROJECT”に技術協力
ヴイストーンが参加するロボット研究開発コンソーシアム“Team OSAKA”では、ロボットのサッ
カー競技会Robo Cupにおいて2004～2008年まで、世界大会5連覇を達成



大型 2 足歩行ロボット
「Vstone Tichno」



人間とロボットの認知発達研究の為に開発された「M3-Neony」

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社ネクス

営業部 TEL : 03-5766-9872